

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔国語〕 三原市立久井小学校

本年度通過率

	国語A	国語B
本校	75.5	55.2
広島県	75.9	58.3
全国	72.9	55.5

本年度の結果について

- 全体的な傾向
国語の結果において、A問題は75.5%、B問題は55.2%の通過率で、全国比(+2.6%、-0.3%)である。この結果から、ほぼ平均的な定着率であると思われる。
- 昨年度の課題への取組の成果・課題
昨年度は、B問題の「書くこと」の領域に課題があり、文章の読み取りが弱く、「引用したり、読み取った複数の内容を関係づけたりして、自分の考えを具体的に書く」問題の通過率が低かった。(15.6%)そこで、次の2点を中心に取組をした。
 - ・中心となる語や文をとらえさせるために、「囲み・線引き学習」をする。
 - ・「とらえた語や文」や「引用した文」を使って条件付きの作文を書く。
 その結果として、「書くこと」の領域の問題は、全国比(+3.5~4.5)と一定の成果が表れた。しかし、「読むこと」が関係する問題の通過率は全国比(-11.3、-9.7)と課題が大きい結果となった。

成果と課題

教科学力調査から

【定着している内容】

- 漢字を正しく読む。書く。
- 複数の事柄を並列の関係(～たり、～たり)で書く。85.4%(+10.5%)

【課題】

- ☆故事成語(百聞は一見にしかず)の使い方として適切なものを選択する。
37.5%(-12.4%)
- ☆詩の表現の特徴として適切なものを選択する。47.9%(-11.3%)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 国語の授業で文章を読むとき、段落のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか。81.3%(全国比+9.6%)
- 読書は好きですか。77.1%(全国比+4.1%)

【課題】

- ☆「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。」81.3%(全国比+17.9%)
- ☆「国語の勉強は好きですか。」45.8%(全国比-13.4%)

課題等に対応した改善指導内容及び方法(授業)

☆故事成語について

授業時間だけでは十分な時間がとれないので、まず故事成語に興味をもたせ、多くの故事成語にふれさせるために、次の3点の取組をする。

- 1 授業で、故事成語の「かるたづくり」を取り入れ、興味をもたせる。
- 2 日常生活の中で、教師が意識して「故事成語」を使った表現をする。
- 3 朝の会等で、「自分が興味をもった故事成語」「似た意味をもつ故事成語」等を紹介する。

☆表現の特徴を選択する。(文章の読み取りに課題があると思われる。)

- 1 説明文の授業(読ませ方)の研修をする。
 - ・各学年での指導事項をまとめ、読解スキルの系統的な指導ができるようにする。
- 2 中心となる語や文をとらえさせるために、囲み・線引作業をさせる。
- 3 さまざまな種類の文章を読ませる。
 - ・「子供たちに声に出して読んで、覚えてほしい・書いてほしい作品集」の活用
(音読・暗唱、視写)

平成26年度全国学力・学習状況調査結果と指導改善計画〔算数〕 三原市立久井小学校

本年度通過率

	算数A	算数B
本校	82.2	61.9
広島県	80.7	60.1
全国	78.1	58.2

本年度の結果について

○全体的な傾向について

算数の結果において、A問題は82.2%、B問題は61.9%の通過率となっており、基礎的・基本的な内容と発展的な内容は、全国平均・県平均を上回ることができている。しかし、問題によっては正答率が低く課題として残るものもある。また、個人差も大きい。

○昨年度の課題への取組の成果

昨年度は、除法の意味の定着や計算の順序のきまりの理解に課題が見られた。また、そこで次の2点、工夫して取組を行った。まず、問題文の意図を読み取るために、条件に下線を引いたり、図式化したりさせた。そして、授業において言語活動を多く取り入れ、自他の考えを深めることをしていった。その結果として、同種類の問題において、全国平均より7.3ポイント、0.4ポイント上回る結果となっている。

成果と課題

教科学力調査から

【定着している内容】

- 立体の構成要素 81.3% (全国比 +11.9%)
- 円周の公式 95.8% (全国比 +11.9%)

【課題】

- ☆分数の相等及び大小について理解している。 60.4% (全国比-12.1%)
- ☆全体と部分の関係を示すために用いるグラフを選択することができる。 54.2% (全国比 -7.3%)
- ☆割合の意味を理解すること。示された情報を基に、筋道を立てて考え、長さの求め方を数学的に表現する。 35.4% (全国比 +2.9%)

質問紙調査から

【肯定的な回答の割合が高かったもの】

- 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。 95.8% (全国比+12.4%)
- 算数の勉強は、大切だと思いますか。 93.8% (全国比+ 1.5%)

【課題】

- ☆算数の勉強は好きですか。 68.7%
- ☆算数の授業で、学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。 75.0%

課題等に対応した改善指導内容及び方法（授業）

☆分数の相等及び大小

分数のおよその大きさに捉え、それを基に大小を判断できるようにする。そのために、分数を具体物、図、数直線等を用いて表し、「半分より大きい」、「1より大きい」といった分数の大きさについて、実感を伴って理解できるようにさせる。

☆グラフの特徴の選択

グラフの特徴を明らかにさせ、それぞれのグラフを用いる場合を実際の場面を想定しながら考えさせる。

☆説明・記述

問題解決に用いる情報を選択し、その情報を適切に使って問題に取り組ませる。また、問題解決の筋道を言葉や式をつかって説明できるようにさせる。

文章を読み取ることができず、問題の意図をつかむことができない児童が多いので、文章題を重点的に指導していく。その際、大事なところにアンダーラインを引くことや説明の文の書き方についても指導を徹底して行う。

☆既習内容の復習

授業やドリルタイムなどで低学年で学習した簡単な内容から説き直しをし、基礎基本の学力が確実に身につくように指導していく。そして、「できた。わかった。」という達成感を味わわせることによって、学習意欲も高めていく。